

1 開会

2 市長あいさつ(要旨)

○総合教育会議は市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育課題やあるべき姿を共有するといったものである。昨年度の会議では「教育大綱の制定」について活発な議論を行ったところである。

○本日は、「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の一部を改正する法律」、いわゆる「給特法等一部改正法」に基づく「業務量管理・健康確保措置実施計画」について、総合教育会議の皆様と議論できることを大変うれしく思っている。

○教職員の負担軽減と健康確保は、教育の質を支える最重要課題である。計画の実効性を高めるために、教育委員会と市が一体となり、学校現場の実態を丁寧に把握をし、そして子どもたちに最善の学びを提供できるように、持続可能な働き方の実現に向けて取り組んでまいりたいと思っている。

皆様には忌憚のないご意見をいただきたい。

3 教育長あいさつ

○すでにご存知かとは思いますが、いわゆる給特法の一部が改正された。そしてこの法律に則って教師の職務改善、学校の働き方改革を進めるために、太田市教育委員会として業務量管理・健康確保措置実施計画を策定することになった。

○本日は関係各課のほうから説明をさせていただく。学校の働き方改革を進めることは、教師が子どもに向き合う時間を確保する、そしてこのことは太田市の教育の質を高めるものと考えている。本計画が実効性のあるものになるよう、本日までご出席いただいた皆様に忌憚のないご意見を賜りたいと考えている。

4 協議事項

- (1) 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法等の一部を改正する法律の施行に伴う業務量管理・健康確保措置実施計画について

〈埴委員〉

時間外在校時間について、令和11年度までに月平均30時間程度に削減することを国が求めていると説明があったが、それ以外に国が目標としている数値があれば教えてほしい。また、その数値は太田市として達成できる見込みがどれくらいあるのかも教えてほしい。

〈学校教育課長〉

国は令和11年度までに、時間外在校時間が月45時間を下回る割合を「100%にすることを目指す」としている。現状のままでは、達成が困難な目標であると認識しているが、教育委員会が、学校に具体的な取り組み事例等を示して、目標が達成できるよう、協力しながら業務の見直しを進めていきたいと考えている。

〈埴委員〉

時間外在校等時間が月80時間を上回る教職員は、どのような担当を行っているのか教えてほしい。

〈学校教育課長〉

「教務主任」や「学年主任」、それから中学校でいうと「進路指導主事」、また「体育主任」などの学校や学年の運営、行事の運営を中心となって行っている教職員が多い傾向となっている。

〈市長〉

教職員の業務量を的確に把握し、長時間勤務が常態化しないよう、デジタル技術の活用や業務整理を一層推進するとともに、健康確保措置を着実に実施してほしいと思っている。教職員が心身ともに健康で、子どもたちと向き合う時間を確保できる環境づくりに、教育委員会と連携し、取り組んでまいりたい。

〈佐藤委員〉

「令和6年度の時間外在校等時間の状況」をみると、中学校の月45時間を上回る割合が小学校と比較すると多い現状にある。部活動指導が関係していると思われるが、「部活動の地域展開」の現状をご教示いただきたい。

〈学校教育課長〉

部活動の地域展開は、「休日」を対象に進めているところである。

現在、太田市では近隣校の部活動同士で活動する「合同部活動」を推進している。合同部活動では、負担軽減のため、顧問が一人いれば活動できる体制を取っている。また、市全体で、外部指導者を80名程度配置している。

〈佐藤委員〉

令和8年度における、太田市として重点的に取り組むことについて教えてほしい。

〈学校教育課長〉

令和8年度は、重点として、国の実証事業に参加し、モデルケースとなる合同部活動等を休日は「地域クラブ」として活動をしていく予定である。

〈市長〉

地域の指導者や団体の皆様にご協力いただくことで、専門性の高い指導や新たな交流が生まれるなど様々な効果があると考えている。まずは、教員の負担軽減と持続可能な活動体制の構築にも寄与する重要な取り組みであるため、今後も地域と学校が連携し、子どもたちの健やかな未来のために協力して取り組んでほしいと考えている。

〈倉嶋委員〉

「教師以外が積極的に参画すべき業務」で、「調査・統計等への回答」に「校務支援システムの活用」がとりあげられている。最近の新聞で、群馬県内の校務支援システムの入れ替えが報道されていたが、太田市は今後どのように活用していくのか教えてほしい。

〈学校教育課長〉

現在、太田市ではC4th(シーフォース)というシステムを使っているが、県が準備する新しいシステムを令和10年度より導入する予定で準備を進めているところである。

〈倉嶋委員〉

「教師の業務だが、負担軽減を促進すべき業務」で、「授業準備、学習評価や成績処理」に学習支援ソフトや自動採点技術等のデジタル技術を活用していることが記載されている

が、その他にデジタル技術を活用し、校務の効率化を進めている取り組みがあれば教えてほしい。

〈学校教育課長〉

現在、校務の効率化につながっている例として、オンライン会議システムを活用した研修会の実施、校務支援システムの共有フォルダを活用した各種文書や様式の共有、Google アプリの「フォーム」や「スプレッドシート」を利用した調査・統計等への回答などが挙げられる。

〈市長〉

やはりデジタル技術の活用というのは、これからより重要になってくると考えている。校務のデジタル化をより一層推進していただき、教職員が児童生徒と向き合う時間を確保できる環境づくりをさらに進めてほしいと思っている。校務を ICT で効率化することで、教員の負担軽減と教育の質の向上が図れる。地域や保護者との連携も強化し、誰もがデジタルの恩恵を実感できる教育の実現を進めていってほしいと考えている。

〈野村委員〉

ワークライフバランスや働きがい等に関する目標で、「ストレスチェック」の具体的な内容を教えていただきたい。

〈学校教育課長〉

ストレスチェックは、毎年8月下旬に、小・中・義務教育学校、市立太田高校の県費教職員全員を対象に実施している。仕事や健康、周囲の人に関することについて回答し、ストレスの状態や原因、アドバイス等が示された結果が、本人に直接返却される。また、管理職には、職場環境改善の資料として、職場全体の総合結果が提示される。

〈野村委員〉

「ワークライフバランスや働きがい等に関する目標」を達成するために、どのような取り組みを考えているか。

〈学校教育課長〉

教職員の勤務時間の状況や、ストレスチェックの結果などから、教育委員会の担当が、校

長先生から教職員や職場の様子聞き取りを行っている。そして、業務分担の見直しが負担軽減、職場環境の改善につなげるようにしている。

〈市長〉

未来を担う子どもたちの成長を支える教職員の皆さんが、心身ともに健康で意欲的に働ける環境づくりを最重要課題と考えている。業務の適正化や ICT 活用の推進をすることで、教職員一人ひとりのワークライフバランスの向上と働きがいの実感につなげていただければと思う。教育の質を高めるためにも、市全体で支援していきたいと考えている。

〈佐藤委員〉

「学校以外が担うべき業務」で、「補導された時は保護者へ委ねる」と記載されている。昔は学校の教職員が対応していたと思うが、教育的な観点から、教職員は対応しなくていいかどうかをご教示いただきたい。

〈指導担当副部長〉

以前は、学校が子どもの日常生活の全てにおいて、対応していた。現在は、学校・家庭・警察の住み分けと連携を図っているところである。そのため、補導された時の引き取りや警察署へ出向くなどは、保護者にお願いしているところである。そうした中で、教職員は、補導された児童生徒の再発防止に向けた生徒指導に注力していきたいと考えている。

〈佐藤委員〉

「教師以外が積極的に参画すべき業務」で、校内清掃の実施回数を減らすと記載されている。清掃は、日本人としての道徳性を養うために必要なのではないかと考えているが、どうだろうか。

〈指導担当副部長〉

校内清掃は、日本の学校文化として価値があり、外国からも注目されていて、道徳性を養う機会の一つであると考えます。そうじを全くしないわけではなく、回数を減らすということである。掃除の回数の多少よりも、児童生徒がどのような姿勢で掃除に向き合うのか、そういうところの教育はしっかりとしていきたいと考えている。

〈佐藤委員〉

清掃だけではなく、普段から整理整頓というものを促進することで、最終的には清掃活動を減らすことができるんだというご指導をしていただければと思う。

〈指導担当副部長〉

今回、学校 ISO14001 の認証を返上したが、いわゆる環境教育という点は今後もしっかりと続けていく。まずは自分の身の回りからきれいにできる、そうした精神は大切にしていきたいと考えている。

〈市長〉

給特法等の一部改正により、教員が教育本来の役割に集中できる環境を整備していかなければいけないと考えている。文部科学省の指針でも、この分類に基づく業務の見直しが明確にされており、過剰な負担の軽減や地域・保護者との役割分担の推進が求められているところである。市としても、教員の長時間労働の是正と、子どもたち一人ひとりに向き合う時間の確保に資するよう、教育委員会や地域と連携して具体的な支援策を強化していきたいと思う。

(2) その他

なし

5 閉会